

# TOSHIBA 東芝ワイヤレスアンプ取扱説明書

## 対象機種

AWA-3204  
AWA-3204C(カセット付)

このたびは、東芝ワイヤレスアンプをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
お求めの東芝ワイヤレスアンプを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

## 目次

安全上のご注意	2
設置・使用上のご注意	6
各部のなまえと説明	7
接続のしかた	9
使用電源について	10
ワイヤレスチューナ部の説明	11
別売ワイヤレスチューナの取付のしかた	13
使いかた	14
ハウリングとデッドポイントについて	15
カセットデッキ部の説明	16
付属の防塵カバーについて	20
修理サービス	21
仕様	22
外形寸法図	23
保証とアフターサービスについて	23

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。  
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

## 安全上の注意

### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 警告

### 〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

- 通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。

- ・ サウナや風呂場など
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 夏の窓を閉めきった自動車の中
- ・ 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
- ・ 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所



- この機器の通風孔はふさがらないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- ・ 風通しの悪い狭い所におしこむ。
- ・ テーブルクロスなどをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。
- ・ 仰向けや横倒し、逆さにする。



- （AC電源でご使用の場合）電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。



## 警告

### 〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

- （AC 電源でご使用の場合）表示された電圧（交流 100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



- この機器は改造しないでください。火災、感電の原因となります。



- （AC 電源でご使用の場合）AC100V 関係の配線工事は電気工事士にご依頼ください。一般の人が行うことは法により禁じられています。



### 〔使うときの注意〕

- この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。



- この機器のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。



- （AC 電源でご使用の場合）電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災、感電の原因となります。



- 万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合は）電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがする。異常な音が出るなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに、本体の電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合は）必ず電源プラグをコンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼してください。



- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合は）電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



## 警告

■乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがの原因となります。



■雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



■この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。



〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

■電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



## 注意

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



■移動させる場合は電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合）必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。

そのまま移動するとコードに傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



■機器を接続する場合は、各々の機器の取扱い説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



■電源コードや接続機器類のコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

必ずプラグを持って抜いてください。



## 注意

### 〔使うときの注意〕

- 持ち運びするときは、アンテナをたたんでください。  
のびしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。



- (AC 電源でご使用の場合) 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス+、マイナス-の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。  
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 電源を入れる前にアンプの音量(ボリューム)を最小にしてください。  
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



- この機器の上に乗ったりしないでください。  
特にお子様にはご注意ください。  
こわれたりして、けがの原因となることがあります。



- カセットテープ挿入孔に、手を入れないようにご注意ください。  
けがの原因となることがあります。



- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。  
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。



- 使用中に突然音が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源スイッチを切り、(AC 電源でご使用の場合) 電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店にご相談ください。  
そのまま放置しておくと、大変危険です。



## 注意

### 〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

- お手入れの際は、安全のため（AC 電源でご使用の場合）電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- 1年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。



- 電池は金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。  
電池のプラス端子とマイナス端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。



### 〔廃却するときの注意〕

- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。  
電池の破裂、液もれにより火災、けがの原因となることがあります。



## 設置・使用上のご注意

- 本機の放熱孔をふさがないように上面、及び後面に10cm以上の空間を確保してください。
- 本機を水滴または飛沫のかかる場所で使用しないでください。
- 使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。
- 本機を雑音発生の原因になる機器(※)の近くには設置しないでください。  
※高周波機器（乾燥機、医療機器など）、電気溶接機、ブラッシングモータ、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器（コンピュータ、電子楽器など）、空気清浄機など。

### 遮断装置について

- 本機は電源プラグが遮断装置になります。
- 本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くで使用してください。

# 各部のなまえと説明

## ■ 背面操作部

※図はAWA-3204C (カセット付) です。

### 充電表示灯

別売ニカド蓄電池(オプション)の充電中には赤色に点灯します。

### モノラル予備入力ピンジャック

(-20dBs 10kΩ不平衡)  
CDプレーヤなどを接続してください。ステレオ機器の場合は両方のジャックに接続、モノラル機器の場合はいずれかのジャックに接続してください。

### ハンドル

本機を移動させるときは、ハンドルを起こして持ち運んでください。移動時以外は、ハンドルをねかせておいてください。

### ロッドアンテナ

ワイヤレスマイク受信用アンテナです。使用時は最長に伸ばしてください。

AWA-3204C

### カセットデッキ部

16~18ページのカセットデッキ部の説明をご覧ください。

AWA-3204

### 空白パネル

### 空白パネル

### 収納部ふた

8ページの背面収納部の説明をご覧ください。

### コード通し穴

AC電源コード、外部スピーカ接続コード接続時はこの通し穴から引き出してください。

### ふたストップ

矢印(▽)の方向に押さえますと、収納ふたが開きます。

### 電源表示灯

本機の電源が入ると緑色に点灯します。また電池でご使用のときは、電池が消耗すると点滅しますので、新しい電池と交換してください。

### 電源スイッチ

ワイヤレスアンプの電源を「入」「切」するときに押します。

### 予備音量調節つまみ

モノラル予備入力ピンジャックに接続された機器の音量を調節してください。

### マイク音量調節つまみ

本機のマイク入力ジャックに接続されたマイクロホンの音量を調節してください。

### 音質調節つまみ

右まわりで高音が強調され、左まわりで減衰されます。中心のクリック位置がフラットです。すべての入力に共通して音質調節がおこなえます。

### マイク入力ジャック

(-54dBs 600Ω不平衡)  
有線マイクのプラグを接続してください。

### ライン出力ジャック

(2dBs 1kΩ 不平衡)  
カセットデッキ(録音用)や増設アンプなどを接続してください。

### ワイヤレスチューナ部

300MHz帯ワイヤレスチューナユニットAWU-321を1台収納しています。出荷時は、グループ/チャンネル番号「C11」に設定されています。グループ/チャンネル番号の変更をされる場合は11~12ページのワイヤレスチューナユニット部の説明をご覧ください。

### 空白パネル

(ワイヤレスチューナユニット取付部)  
別売のワイヤレスチューナユニットAWU-321を増設される場合は、空白パネルをはずしてください。(13ページの別売ワイヤレスチューナユニットの取付のしかたをご覧ください。)

## ■ 背面収納部

### 乾電池収納部

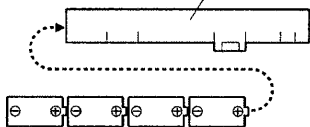
本機を乾電池で使用する場合は、単一乾電池(R20P)8本を入れてください。  
10ページの乾電池でご使用の場合をご覧ください。

#### 乾電池収納パイプ(2本)

本機を乾電池で使用する場合は、それぞれのパイプに単一乾電池(R20P)4本を極性表示に従って入れてください。

##### ■ 乾電池収納パイプ

極性表示

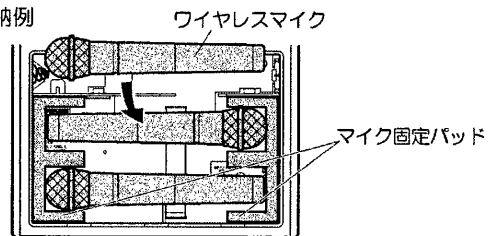


### マイク固定パッド(付属品)

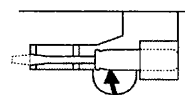
マイクロホンなどを収納するときに下図のように装着してください。下図のようにワイヤレスマイク(AWM-311)を3本(上段2本、下段1本)まで収納することができます。

収納したマイクロホンは収納マイク固定ベルトでしっかり固定し、輸送時の衝撃から保護してください。ただし別売ニカド蓄電池(オプション)取付時はこのパッドを装着できません。

#### ■ マイク収納例



### ワイヤレスチューナ 設定用ドライバ



この部分を引き上げて  
ドライバをはずす

12ページの周波数/感度の設定のしかたをご覧ください。

### サーキットブレーカ

異常発生時は飛び出した状態(■)になります。押し込む(▲)と復帰しますが、再び異常状態になるときは販売店に修理をご依頼ください。

### AC電源コード

AC100Vコンセントに接続してください。収納部ふたの穴からコードを引き出してください。

### 蓄電池取付穴

別売のニカド蓄電池で使用する場合に接続します。

### 収納マイク固定ベルト

マイクロホン収納時に固定してください。

### 蓄電池接続コネクタ

別売ニカド蓄電池(オプション)を接続してください。

### 外部スピーカ接続端子

外部スピーカを接続してください。スピーカ接続コードを右図の要領で接続してください。

### 内蔵スピーカ切換スイッチ

内蔵スピーカを鳴らすか鳴らさないかを内蔵スピーカ切換スイッチで選択してください。

ON: 内部スピーカを鳴らすとき

OFF: 内部スピーカを鳴らさないとき

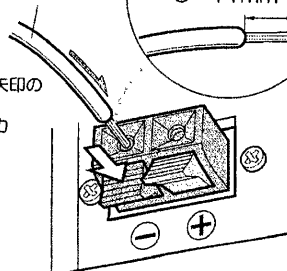
※外部スピーカは定格入力が20W以上で、インピーダンスが8~16Ωのものを使用してください。

■ 適合電線:  
0.75mm<sup>2</sup>~2.0mm<sup>2</sup>  
のより線

スピーカコード

スピーカコードの  
末端処理方法  
9~11mm

プッシュボタンを矢印の  
方向へいっぱい  
押しながらスピーカ  
コードを差し込む



内蔵スピーカ  
INT SP  
OFF ON

内蔵スピーカ  
切換スイッチ

#### ■ 注意

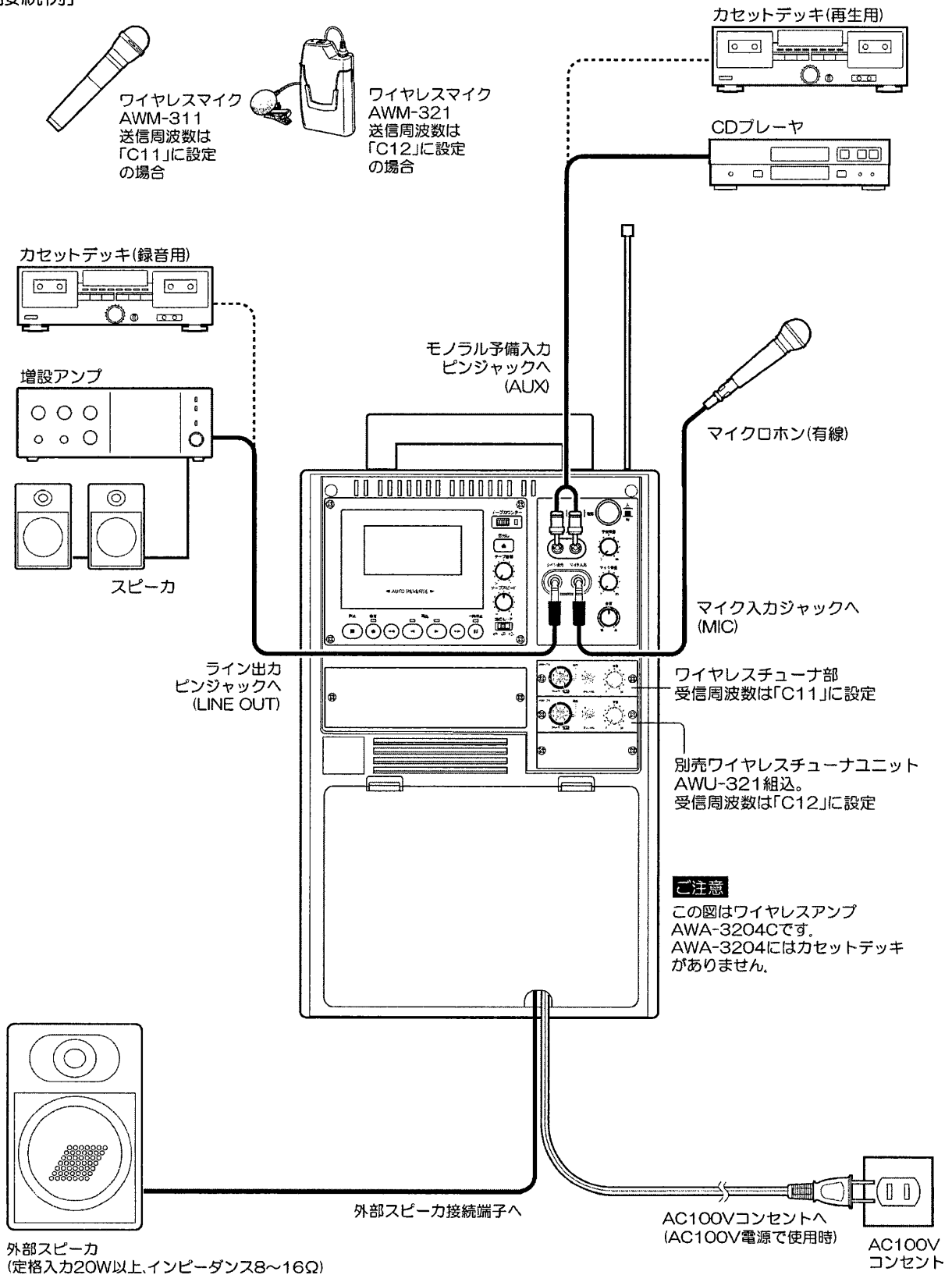
外部スピーカを接続しないときに内蔵スピーカ切換スイッチを「OFF」側にしていますと音が鳴りません。必ず切換スイッチを「ON」側にしてください。



# 接続のしかた

● 下図の接続例を参考に接続してください。

## [接続例]

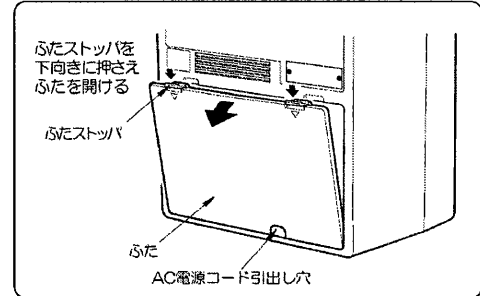


## 使用電源について

- 本機は AC100V、乾電池 (R20P)、ニカド蓄電池 (オプション) の3種類の電源が使用できます。下記の使用される電源の説明に従ってご使用ください。

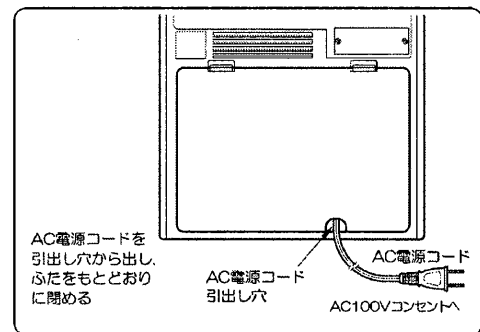
### ふたを開ける

- ふたストッパを下向きに押さえ、ふたを手前に開けてください。内部に AC 電源コード、乾電池ホルダ、ニカド蓄電池収納部があります。(右図参照)



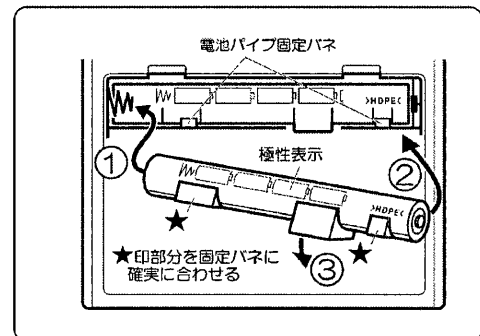
### ■AC 電源でご使用の場合

- 1.AC 電源コードを取り出し AC コンセントに差し込んでください。
- 2.AC 電源コードを下部の AC 電源コード引出し穴から出して、もとどおりにふたを閉めてください。(右図参照)



### ■乾電池でご使用の場合 (単一乾電池 R20P を 8 個ご準備ください)

- 1.電池収納パイプの極性表示に従って、それぞれのパイプに単一乾電池 (R20P) 4本を入れてください。(右図参照)
  - 2.電池収納パイプを右図の要領で乾電池収納部に挿入してください。
  - 3.もとどおりにふたを閉めてください。
- 乾電池を内蔵している場合でも、AC コンセントに電源プラグを差込みますと AC100V で動作します。また AC100V コンセントに差込まない場合は、自動的に内蔵乾電池 (DC 電源) で動作します。
  - 電源スイッチを切ったときは、電源表示灯が点滅しながら消えますが、異常ではありません。
  - アルカリ乾電池を使用しますと比較的、長持ちします。



### ご注意

- 本機に乾電池が入っているときは乾電池の飛び出しなどを防ぐために、必ずふたを閉めてください。
- 乾電池を交換するときは、必ず全部新品に交換してください。乾電池は必ず同じ種類のものをご使用ください。また乾電池の極性は＋を間違えないようご注意ください。
- 長時間使用しない場合は乾電池を取り出しておいてください。乾電池をそのまま入れておきますと、乾電池の液もれで本機が使用不能になる恐れがあります。

### 電池寿命の目安

形名	電池種類	
	マンガン乾電池	アルカリ乾電池
AWA-3204	約 4.5 時間	約 16 時間
AWA-3204C	約 3.5 時間	約 12 時間

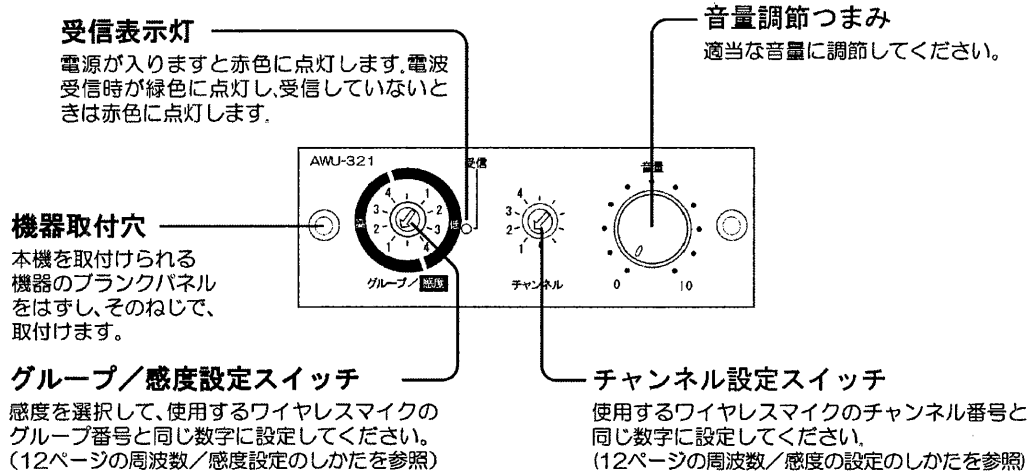
- 上記電池寿命は一般的な条件下で連続使用した場合 (カセットデッキ付は再生状態) の値です。実際の使用では間欠動作や出力の大小、オプションユニットの装着などにより変わりますので、参考としてください。

### ■ニカド蓄電池 (オプション) でご使用の場合

- 販売店等にご相談ください。

# ワイヤレスチューナ部の説明

## ■ 背面操作部



## ■ グループについて

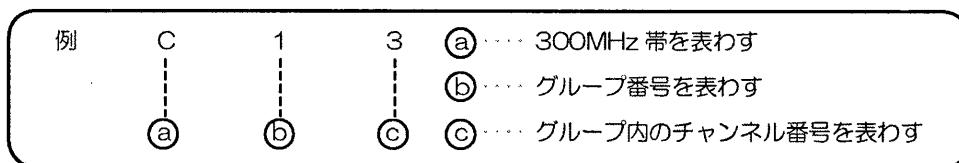
- 同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は1つのグループに統一します。(グループ1～4の中から1つのグループを選びます。)
  - ・グループ1～3の中から1つのグループを選んでシステムを組めば、最大4波まで使用できます。
  - ・グループ4は1波使用できます。
- チューナユニットの受信周波数は、マイクの送信周波数と同じ周波数に設定します。

〔周波数表〕

周波数 (MHz)	グループ/チャンネル番号			
	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

## ■ チャンネル呼称および設定スイッチについて

- チャンネルの呼称および設定スイッチについて、C13チャンネルを例に次に説明します。



- 出荷時は、C11チャンネルに設定してあります。

## ■ 周波数／感度の設定のしかた

- 受信周波数は、マイクの送信周波数と同じ周波数に設定してください。
- 受信感度は、通常は、『高』に設定してください。  
近隣で使用するワイヤレスマイクが混信する等の場合は、『低』に設定すると混信防止に効果があります。
- 出荷時の設定は、次のとおりです。

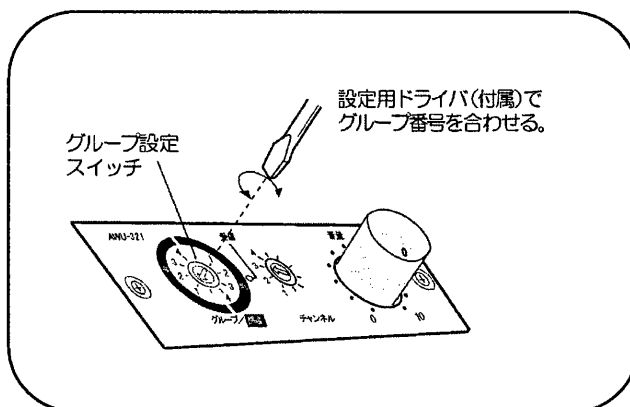
チャンネル	: C11
感 度	: 高

- 次の手順で、背面収納部内に付属のワイヤレスチューナ設定用ドライバ（8ページ参照）を使用して、設定してください。

## 設定手順

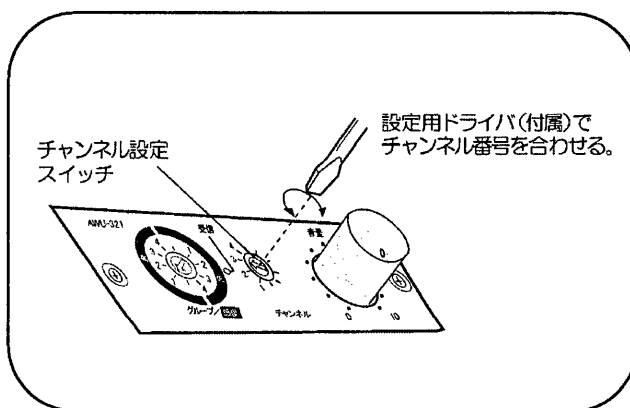
1. グループおよび感度の設定をする。

グループ／感度設定スイッチの矢印を設定したい感度のグループ番号（1／2／3／4）に合わせます。  
（右図参照）

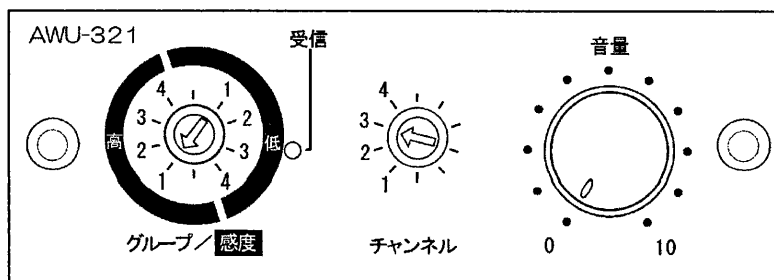


2. チャンネル番号を設定する。

チャンネル設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号（1／2／3／4）に合わせます。（右図参照）



## C13 チャンネル、感度『高』設定例



## 別売ワイヤレスチューナユニットの取付のしかた（ユニット増設の場合）

- 本機は別売のワイヤレスチューナユニット AWU-321 を追加で 2 台まで組み込むことができます。取付は販売店等にご相談ください。

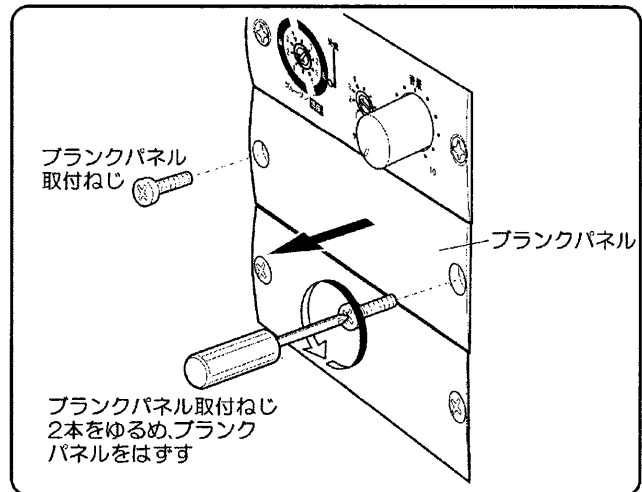
### 1. ブランクパネルをはずす

本機のブランクパネルをはずし、ブランクパネルの裏側には4P コネクタと同軸コネクタ（A）が差し込まれていますので、それらのコネクタをブランクパネルからはずしてください。（右図参照）



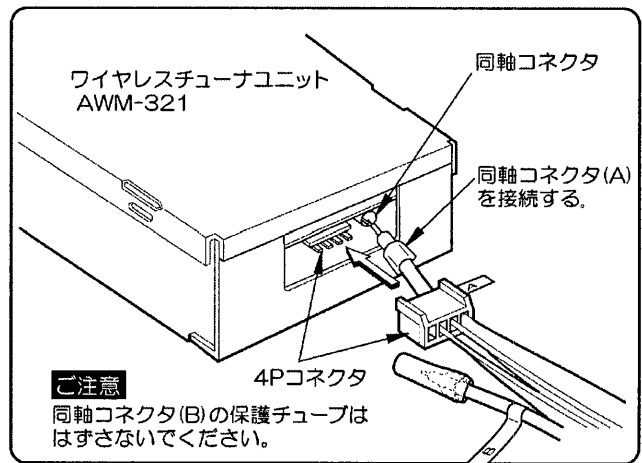
### 警告

ご使用中は、感電の恐れがありますので、取付作業を行わないでください。作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。



### 2. 各コネクタをワイヤレスチューナユニットに接続する

はずした4P コネクタと同軸コネクタ（A）をワイヤレスチューナユニット後面にある各コネクタにしっかりと接続してください。（右図参照）

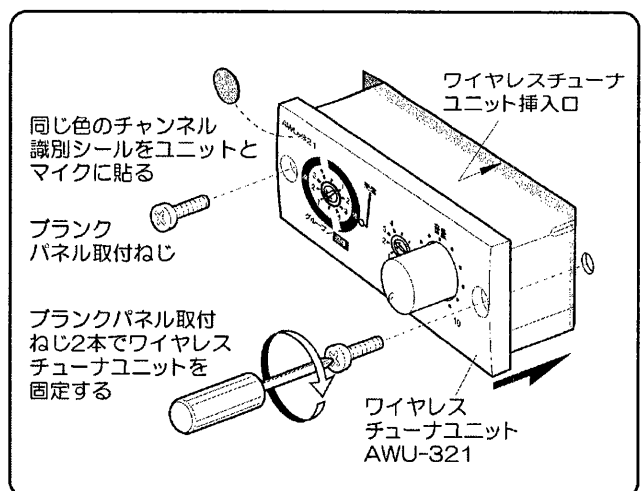


### 3. ワイヤレスチューナユニットを組み込む

ワイヤレスチューナユニットを本機のワイヤレスチューナユニット挿入口に挿入し、ブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。（右図参照）

#### 付属のチャンネル識別シールについて

- 設定したチャンネルをわかり易くするために複数チャンネルのワイヤレスマイクを容易に識別するために、同じチャンネルのワイヤレスマイクとチューナユニットに、それぞれ同じ色のチャンネル識別シール(付属)を適当な位置に貼り付けてください。



#### ご注意

- ブランクパネルから4P コネクタをはずす際には、必ずパネル側のロックのツメをはずしてから取りはずしてください。
- チューナユニット挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。

# 使いかた

## ワイヤレスマイクの使い方

**△ 注意** 電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

### 1. 電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

### 2. ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にする

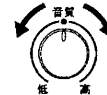
アンテナ受信表示灯が緑色に点灯します。

電源スイッチを「ON」にする



### 4. 音質を調節する

ワイヤレスマイク放送の音質を音質調節つまみで調節してください。



すべての入力に共通して音質が調節されます。

### 3. ワイヤレスマイクの音量を調節する

ワイヤレスマイクの音量をワイヤレスチューナ部の音量調節つまみで調節してください。



## 有線マイクの使い方

### 2. 電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

### 1. マイクプラグをマイク入力ジャックに接続する



### 3. マイクの音量を調節する

マイクの音量をマイク音量調節つまみで調節してください。



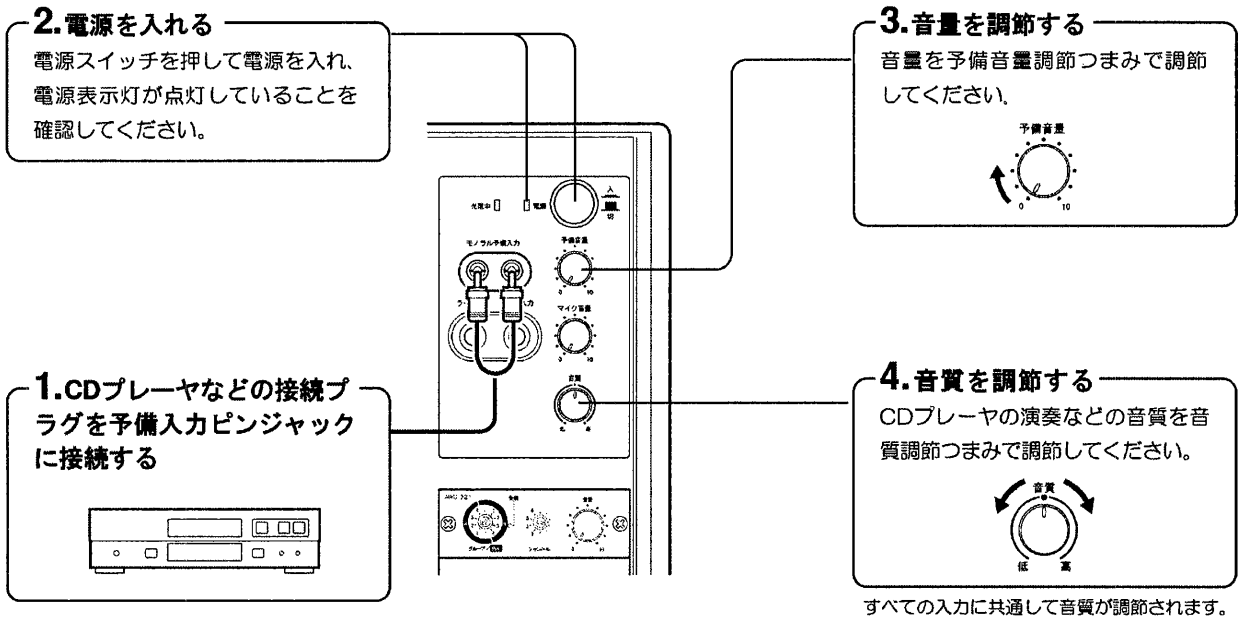
### 4. 音質を調節する

マイク放送の音質を音質調節つまみで調節してください。



すべての入力に共通して音質が調節されます。

## 予備入力に接続されたCDプレーヤなどの放送をするとき

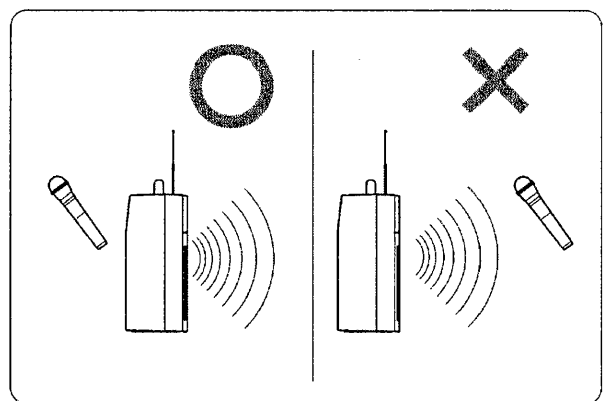


### 注意

- 電源コードやその他の接続コードが正しく接続されているか確認してください。
- 各音量調節つまみは反時計回り最小の位置に合わせておいてください。

## ハウリングとデッドポイントについて

- ワイヤレスマイクや有線マイクをスピーカーの真正面近くで使用したり、音量を上げすぎたりすると「キーン」というハウリングが起きます。ハウリングが起きた場合は、ただちに音量を下げるか、マイクの位置をスピーカーの方向からそらすと止まります。(右図参照)
- ワイヤレスマイクを移動しながら使用していると、突然音がでなくなる位置があります。これをデッドポイントといい、ワイヤレスマイクと本機内蔵アンテナの位置と壁、障害物などの位置関係により生ずるもので故障ではありません。本機の位置、あるいはワイヤレスマイクの位置を変えらるとなおります。

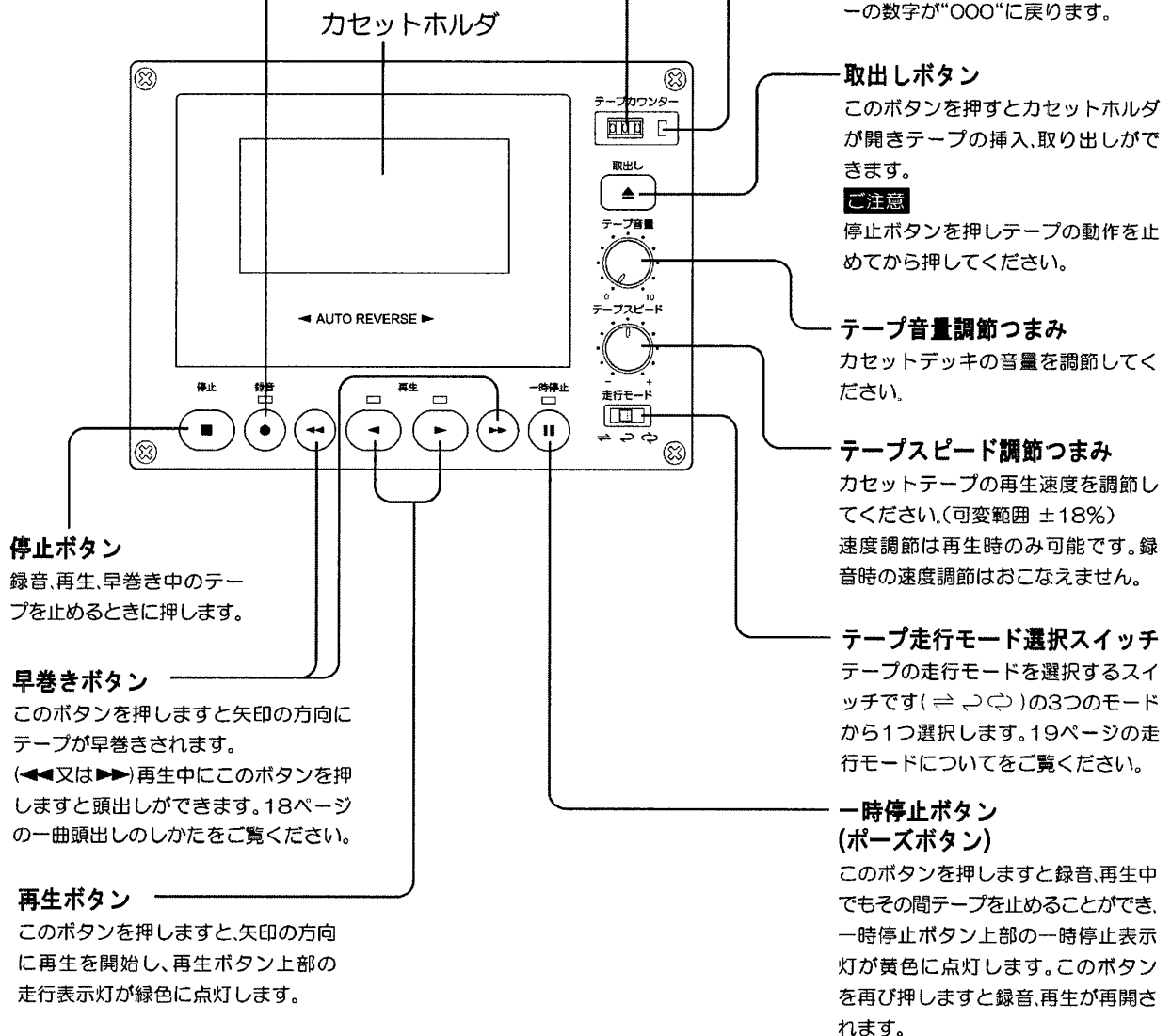


## カセットデッキ部の説明 [AWA-3204C (カセット付) の場合]

### ■ 各部のなまえと説明

#### 録音ボタン

このボタンを押しますと録音待機状態となり、録音ボタン上部の録音表示灯が赤に点灯します。録音したい方向の再生ボタンを押した時点で録音が始まります。(17ページの録音のしかたをご覧ください。)



#### 停止ボタン

録音、再生、早巻き中のテープを止めるときに押します。

#### 早巻きボタン

このボタンを押しますと矢印の方向にテープが早巻きされます。  
(◀◀又は▶▶)再生中にこのボタンを押しますと頭出しができます。18ページの一曲頭出しのしかたをご覧ください。

#### 再生ボタン

このボタンを押しますと、矢印の方向に再生を開始し、再生ボタン上部の走行表示灯が緑色に点灯します。

#### テープカウンター

録音時このカウンターの数字をメモしておくで録音開始時や希望位置をさがしやすのに便利です。

#### リセットボタン

このボタンを押すとテープカウンターの数字が“000”に戻ります。

#### 取出しボタン

このボタンを押すとカセットホルダが開きテープの挿入、取り出しができます。

#### 注意

停止ボタンを押してテープの動作を止めてから押してください。

#### テープ音量調節つまみ

カセットデッキの音量を調節してください。

#### テープスピード調節つまみ

カセットテープの再生速度を調節してください。(可変範囲 ±18%)  
速度調節は再生時のみ可能です。録音時の速度調節はおこなえません。

#### テープ走行モード選択スイッチ

テープの走行モードを選択するスイッチです(⇒ ⇄ ⇄)の3つのモードから1つ選択します。19ページの走行モードについてをご覧ください。

#### 一時停止ボタン (ポーズボタン)

このボタンを押しますと録音、再生中でもその間テープを止めることができ、一時停止ボタン上部の一時停止表示灯が黄色に点灯します。このボタンを再び押しますと録音、再生が再開されます。

### ■ 録音レベルについて

録音レベルの調節は録音する入力または機器側の各々の音量調節つまみで設定します。

ある程度の音量で放送しているときに放送内容を録音する場合は問題ありませんが、音量を小さくして録音しますと録音レベルが不足し、再生音量が小さくなることがあります。

特に本機を録音のみの目的で使用するときには、本機の音量調節つまみはなるべく中央付近になるように設定してください。また、本機収納部の内蔵スピーカ切換スイッチを「OFF」側に切り換え、内蔵スピーカを鳴らさないで録音することをお薦めします。



## ■ 操作のしかた

**注意** 電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

### 再生のしかた

#### 2. テープを挿入する

取出しボタンを押しますとカセットホルダが開きますのでテープを挿入します。

#### 7.

再生を止めるときに、停止ボタンを押します。

#### 4. 再生ボタンを押す

正方向に再生する場合は▶ボタンを押します。逆方向に再生する場合は◀ボタンを押します。テープが再生を開始し、走行表示灯が点灯します。

#### 5. 音量を調節する

音量をテープ音量調節つまみで調節してください。



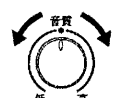
#### 1. 電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

#### 3. 走行モードを選択する

テープ走行モード選択スイッチで走行モードを選択してください。(19ページの走行モードについてをご覧ください。)

#### 6. 音質を調節する



音質を音質調節つまみで調節してください。

### 録音のしかた

●モノラル予備入力、マイク入力等に録音したい音声を入力してください。

●録音レベルの調節は録音する入力または機器側の各々の音量調節つまみで設定してください。

#### 2. テープを挿入する

取出しボタンを押しますとカセットホルダが開きますのでテープを挿入します。

#### 8.

録音を止めるときに、停止ボタンを押します。

#### 5. 録音ボタンを押す

録音ボタンを押します。録音表示灯が点灯し録音待機状態となります。

#### 6. 再生ボタンを押す

録音を開始したい方向の再生ボタンを押してください。走行表示灯が点灯し、録音待機状態となります。

#### ご注意

誤消去防止つまみが折れている場合は録音ボタンを押し、その方向の再生ボタンを押せば録音はキャンセルされます。

#### 1. 電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

#### 3. 走行モードを選択する

テープ走行モード選択スイッチで走行モードを選択してください。(19ページの走行モードについてをご覧ください。)

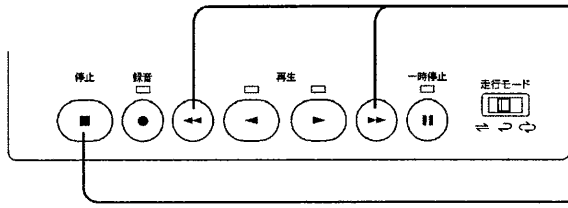
#### 4. 一時停止ボタンを押す

一時停止ボタンを押します。一時停止表示灯が点灯します。

#### 7. もう一度一時停止ボタンを押す

一時停止ボタンを押します。一時停止表示灯が消え、録音を開始します。

## 早巻きのしかた

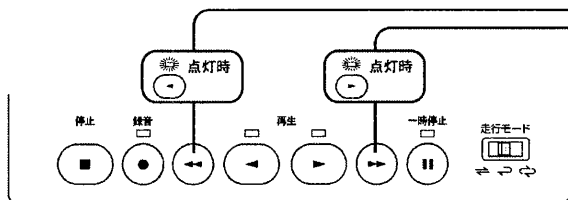


1. 矢印の方向の早巻きボタンを押すと、その方向の早巻きをします。

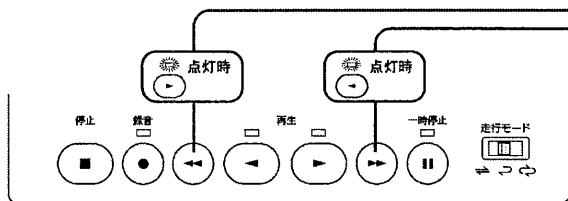
2. 停止ボタンを押すと早巻きが解除されテープが止まります。

## 一曲頭出し(自動選曲)のしかた

●一曲頭出し(自動選曲)とは、録音されている曲間の無録音部分を自動的に検出して、曲の始めから再生する機能です。



1. 今聞いている曲の次の曲の頭出しをする場合再生している方向と同じ矢印の方向の早巻きボタンを押してください。走行方向表示灯が点滅し頭出し状態を示します。次の曲の始めのところで早巻きが解除され再生状態となります。



2. 今聞いている曲の頭出しをする場合再生している方向と反対の矢印の方向の早巻きボタンを押してください。走行方向表示灯が点滅し頭出し状態を示します。その曲の始めのところで早巻きが解除され再生状態となります。

### 頭出しで再生待機状態にするには

再生中に一時停止ボタンを押して再生待機状態にしてから、上記の1又は2の操作を行ってください。

## 一曲頭出しの録音のしかた

●一曲頭出し再生をするためには曲と曲の間に3秒以上の無録音部分が必要です。

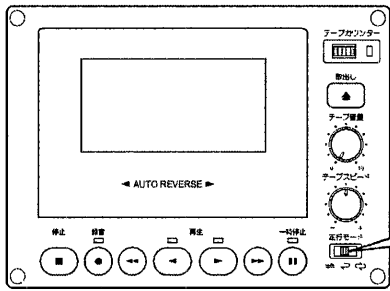
### ご注意

◎次のような録音状態のテープは頭出しが正常に動作せず、曲の頭でテープが止まらなかったり、曲の途中で止まったりしていますので特にご注意ください。

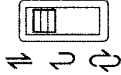
- 曲と曲の間に会話や雑音が入っている……………止まらない
- 曲と曲の間の無録音部分が短い(3秒以下)……………止まらない
- 曲の途中で3秒以上の途切れがある……………曲の途中で止まる
- 弱音の多い音楽や、録音レベルが低いもの……………止まったり、止まらなかったり

## 走行モードについて

●テープの走行モードとして、再生で3モード、録音2モードの中から一つ選択することができます。



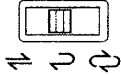
### 走行モード



#### 1.「→」一方向モード

正方向(▶)、逆方向(◀)のいずれでも、現在走行している方向のテープエンドで再生(又は録音)を停止するモードです。

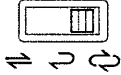
### 走行モード



#### 2.「↔」往復モード

正方向(▶)で再生(又は録音)をしている場合テープエンドで一度反転し逆方向のテープエンドで再生(又は録音)を停止するモードです。逆方向から再生(又は録音)を開始した場合はその方向のテープエンドで再生(又は録音)を停止します。

### 走行モード



#### 3.「↻」エンドレスモード

再生時に走行方向のテープエンドで反転を繰り返し連続して再生を繰り返します。録音時は往復モードと同じ動作となります。

## ■ カセットテープについて

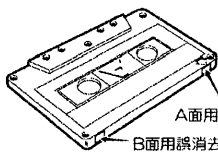
### C-120タイプの使用禁止について

●C-120タイプ(120分用)のカセットテープは、ちょっとした不注意でテープが切れたり、伸びたり、巻込んだりしますのでご使用にならないください。

### エンドレステープの使用禁止について

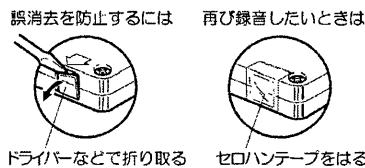
●エンドレステープはテープが巻込み、故障の原因になりますのでご使用にならないください。

### 録音されたテープを誤って消去しないために



A面用誤消去防止つめ

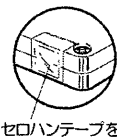
B面用誤消去防止つめ



誤消去を防止するには 再び録音したいときは



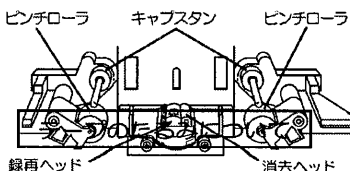
ドライバーなどで折り取る



ゼロハンテープをはる

●貴重な録音を誤って消さないためにカセットテープには誤消去防止つめが各面用に各1個ついています。このつめを折り取っておきますと、テープデッキの誤消去防止装置が働いて再録音はできませんので安心です。  
●つめを折り取ったカセットテープを再び録音したいときは、ゼロテープなどでつめの穴の上にはってください。再録音が可能になります。

### デッキのお手入れのしかた

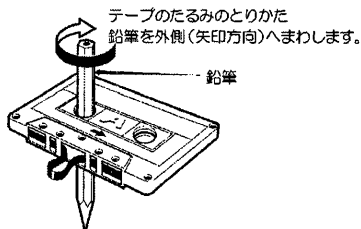


録再ヘッド

消去ヘッド

①取出しボタンを押し、カセットホルダを開きます。  
②下方にピンチローラ、キャプスタン、録音/再生ヘッド、消去ヘッドが見えます。  
③綿棒又はやわらかい布でヘッド面やキャプスタン、ピンチローラを拭き、汚れを取ります。汚れのひどいときは、綿棒又は布に少量のアルコールを浸して拭き取ってください。  
ご注意……●ヘッド部にドライバ、ペンチなどの鉄類や磁気類を近づけないでください。ヘッドが磁気を帯びますと録音時の雑音の原因になります。  
●ヘッドの清掃は力を入れなくてください。  
●本機に注油しますと故障の原因になります。絶対に注油しないでください。

### テープのたるみについて



テープのたるみのとりかた

鉛筆を外側(矢印方向)へまわします。

鉛筆

●カセットテープをデッキに入れる前にテープがたるんでいないことを確かめてください。もし、たるんでいたら六角形の鉛筆などで左図のようにして、たるみをとってください。たるんだまま使用しますとテープが切れたり、伸びたり、巻込んだりしてテープを傷つけることがあります。  
●カセットテープのリールを手で回してテープをたるませることも絶対しないでください。  
●テープの巻きが強いときや、巻むらがあるときは、一度早送り又は巻戻しをしてからご使用ください。  
●高温、多湿の所や磁気のある所(テレビやスピーカーの近くなど)を避けて保管してください。(テープの最適保管条件は湿度50%、気温24℃といわれています)  
●ホコリの多い所での保管はプラスチックケースなどに収めてください。

### 著作権法について

■あなたが放送やレコード、その他の録音物から録音したものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。  
●放送コード、レコード、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらをテープに録音して、

販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用するには、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

●詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

## 付属の防塵カバーについて

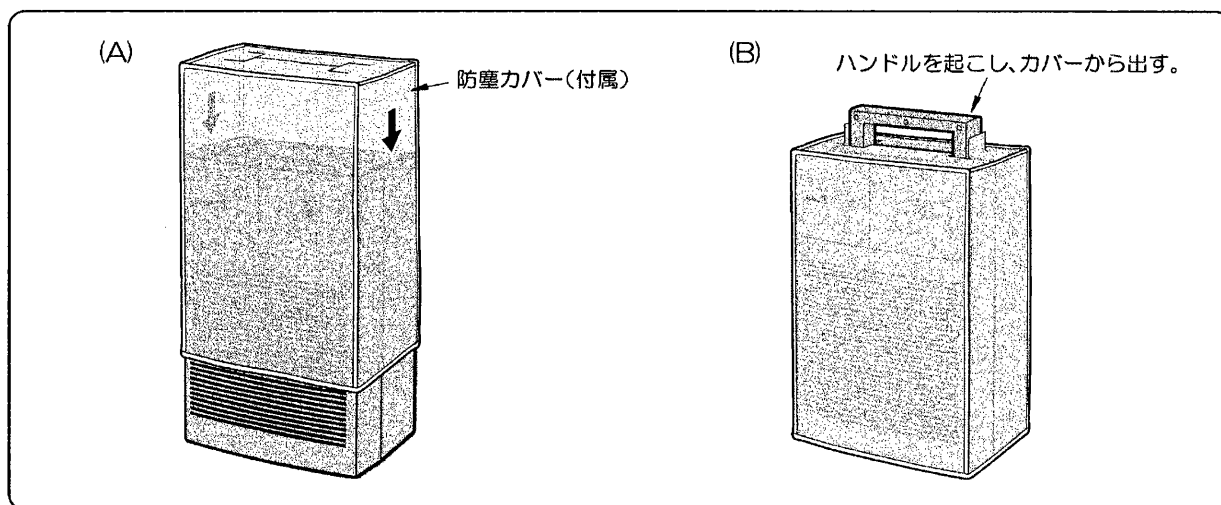
- 付属の防塵カバーは本機を埃や傷から保護するため、保管時または移動時などにご利用ください。

### 防塵カバーの取り付け方

- 防塵カバーを取り付ける時は、必ず接続機器のプラグをはずし、アンテナを最短に押し込んでください。(カセット付の場合はカセットホルダを閉める。)
- 防塵カバーは前後関係なく本機に取り付けてください。(下図 A 参照)

### 移動するときは

- 防塵カバーを取り付けた状態で移動するときは本機のハンドルを起しカバー上部の切れ込みより出してください。(下図 B 参照)
- 移動が終わり、保管する場合はハンドルを倒しカバー内部に収納してください。



### 警告

- 防塵カバーを取り付けたまま本機を使用しない。通風孔がふさがり内部に熱がこもり火災の原因となります。
- 本機に水滴が付いたまま防塵カバーを付けない。火災や感電の原因になることがあります。特に保管される時にご注意ください。よく乾燥してからカバーを取り付けてください。

## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談される時は形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

ご相談のまえに、つぎのことをお調べください



### 警告

- 次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常がないことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は販売店などにご依頼ください。

症状	点検項目	処置
全く作動しない。	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	乾電池が入っていますか。	確認と同時に電池の消耗も確認してください。
	電源スイッチは入っていますか。	電源スイッチを入れてください。
	各音量調節つまみがしぼられていませんか。	各音量を適当な音量に調節してください。
有線マイクの音声がかたかたで聞こえない。	マイクのトークスイッチは入っていますか。	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか。	確認してください。
	マイクは正常ですか。	他のマイクと交換してください。
	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
接続機器の音がおかしい。または小さい。	接続機器のインピーダンスは合っていますか。	確認してください。
	DC電源で使用の場合、乾電池またはニカド蓄電池が消耗していませんか。	乾電池の場合は全部新しい電池に取り換え、ニカド電池の場合は充電をおこなってください。
	接続機器及び本機の予備音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
内蔵スピーカの音がでない。	内蔵スピーカ切換スイッチが「OFF」位置になっていませんか。	確認してください。
外部スピーカの音がでない。	正しく接続されていますか。	確認してください。

### ワイヤレスチューナユニット部

症状	点検項目	処置
全く作動しない。	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
ワイヤレスマイクの音声がかたかたで聞こえない。	マイクのトークスイッチは入っていますか。	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクの電池が入っていますか。	確認と同時に電池の消耗も確認してください。
	マイクとワイヤレスチューナ(ユニット)のグループ/チャンネル番号は同じですか。	グループ/チャンネル番号を確認してください。
	テッドポイントの位置ではありませんか。	確認してください。
	ワイヤレスチューナ(ユニット)の音量調節つまみがしぼられていませんか。	適当な音量に調節してください。

### カセットテープデッキ部

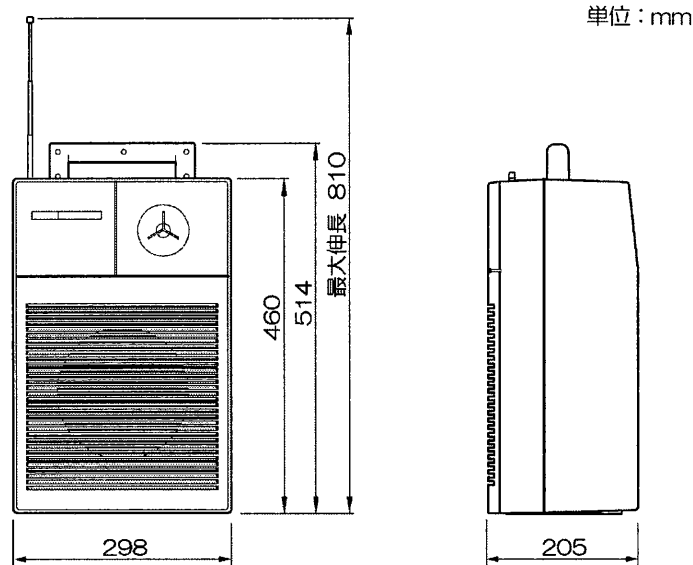
[AWA-3204C (カセット付) の場合]

症状	点検項目	処置
全く作動しない。	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
テープが走行しているのに音が出ない。	未録音のカセットテープがセットされていませんか。	確認してください。
	テープ音量調節つまみが「0」になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
前回に録音した音がときどきでる。	前回、本機で録音された場合	消去ヘッドを清掃してください。(19ページのデッキのお手入れのしかたを参照) その後、録音をやり直してください。
	前回、他機で録音された場合	録音をやり直してください。
音がかすれたり、ふるえたり、また録音がきれいにできない。	キャプスタン、ピンチローラ、ヘッドが汚れていませんか。	キャプスタン、ピンチローラ、ヘッド部を清掃してください。(19ページのデッキのお手入れのしかたを参照)
	テープが傷んでいませんか。	別のテープと取り換えて問題がなければ新しいテープと交換してください。
録音ができない。	カセットテープの誤消去防止つめが折り取られていませんか。	誤消去防止つめが折り取られていければ、溝にセロテープを貼って下さい。(19ページの録音されたテープを誤って消去しないために参照)
自動選曲ができない。	録音の方法を誤っていませんか。	18ページの一曲頭出し(自動選曲)の録音のしかたを参照。

# 仕様

形名	AWA-3204C	AWA-3204
使用電源	AC100V 50/60Hz, R20P (単一形) ×8	
定格消費電力	56W (電気用品安全法による測定方法に基づく)	
消費電流	AC1.2A (20W出力時) DC2.8A (8W出力時)	
定格出力	AC時: 20W, DC時: 8W	
ひずみ率	5% (1kHz 定格出力時)	
周波数特性	70Hz~12kHz (偏差±3dB), カセット125Hz~10kHz (偏差)	
音質調節	4kHzにおいて+5dB/-10dB (1kHz 基準) 調節器付	
入力感度及インピーダンス	マイク: 約-54dBs 600Ω 不平衡 音量調節器付 予備: 約-20dBs 10kΩ 不平衡 音量調節器付 チューナ部入力: 約-24dBs 10kΩ 不平衡	
信号対雑音比	70dB 以上 (カセット部は除く)	
外部接続スピーカ	8Ω~16Ω 許容入力 20W 以上	
ライン出力	2dBs 1kΩ 不平衡	
アンテナ方式	ロッドアンテナ×1	
動作表示	電源: 発光ダイオード (緑) 減電圧時点滅 充電: 発光ダイオード (赤)	
使用温度範囲	0°C~+40°C	
外形寸法	ケース (ABS 樹脂): マンセルN7 近似値 ライトグレー 幅 298mm 奥行 205mm 高さ 460mm (アンテナ最大伸張時 810mm)	
質量	約 8.0kg (乾電池、蓄電池を除く)	約 7.3kg (乾電池、蓄電池を除く)
付属品	取扱説明書……………1 東芝家電修理ご相談センター一覧表……………1 電池ケース……………2 マイク固定パッド……………2 設定用ドライバ……………1 防塵カバー……………1 チャンネル識別シール……………1	
●チューナ部 (AWU-321 1台組込、2台増設可)		
受信周波数	322.025MHz~322.150MHz、322.250MHz~322.400MHz (25kHz 間隔 13 波)	
出荷時設定受信周波数 (グループ/チャンネル番号)	322.050 MHz (C11)	
受信方式	PLL 制御スーパーヘテロダイン方式	
受信感度	20dBμV	
受信表示	2色発光ダイオード 待機時 (赤)、受信時 (緑)、設定外時 (赤/点滅)	
●カセット部 (AWU-3204C のみ)		
適合テープ	フィリップス形コンパクトカセットテープ (C-120、エンドレステープを除く)	
メカニズム	フルロジック	
制御方式	オートリバース方式	
テープ速度	4.75cm/sec (再生時±18%可変)	
ワウ・フラッタ	0.2% WRMS	
トラック方式	2トラック 1チャンネル	
ヘッド	録再1、消去1 (ロータリ式)	
選曲	前後一曲	
早巻き時間	約 120 秒 (C-60 使用時)	
録音方式	オートレベル、交流バイアス方式	
消去方式	交流消去方式	
回転部寿命	約 1000 時間	
付帯機能	テープカウンタ、テープスピード調節器、一時停止、走行モード選択、テープ音量調節器、オイルダンパ式カセットホルダ	
動作表示	録音時: 発光ダイオード (赤) 再生時: 発光ダイオード (緑) カセット一時停止時: 発光ダイオード (橙) テープカウンタ: 機械式	

## 外形寸法図



## 保証とアフターサービスについて

### 保証について

保証の内容は、下記のとおりとさせていただきます。

保証期間	保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
保証内容	取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
保証の免責事項	保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷 (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合 (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷

### 修理を依頼される時

- 保証期間中は  
 万一故障がおきた場合は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎているときは  
 お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理をさせていただきます。

### アフターサービスについてご不明な点は

修理に関する相談ならびにご不明な点は、お買上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。